



---

## Initiation Leçon5-2 (入門 5-2)

---

Règle de grammaire N° 1 le nom et l' article.

(フランス語の基本ルール 名詞と冠詞)



この章は、文法項目が多く、読み物が中心です。  
レッスン前に文法項目は理解しておき、レッスンでは、  
講師と一緒に発音練習しながら、覚えることに重点を  
置くと効率よく学習できます。

## Partie 1 ~ L'article (冠詞) ~

これからフランス語を学習していくうえで、知っておきたいフランス語の基本的なルールを学習します。

フランス語の冠詞には、定冠詞・不定冠詞・部分冠詞の3つがあります。冠詞は、名詞の性数(入門 5-1 で学習)により変化します。

講師に続いて繰り返し練習してみましょう。

定冠詞 (L'article défini)		
英語の the に相当し、特定の物や不変の物、および種および種族全体(「○○というもの」などの抽象的概念)を表す場合につく冠詞です。名詞の性(男性・女性)数(単数・複数)により形が異なります。		
<p>・特定・不変の物とは: A 話題になっている“もの”を聞き手が特定できるもの。            B ただ一つしか存在しないもの。(月、太陽、など)            C 言語、国、地方、山、海などの固有名詞(基本的に人名と都市名にはつかない)</p>		
<p>・種族全体とは: A 種類や種族全体を問題にするときや、概念そのものについて述べるとき            抽象概念を述べる場合は、可算名詞は複数形、不可算名詞は単数形を用いるのが基本です。            例: <u>Les hommes</u> sont mortels.(人間(というもの)は死すべきものである。)  <u>Le courage</u> est une vertu.(勇気(というもの)は美德の一つである。)</p>		
名詞の種類	定冠詞	
単数・男性名詞	le (l')	例: ★1 le chat(猫)、★2 le tennis(テニス)、★3 le livre(本)、 ★4 le courage(勇気)、★5 l'homme(人間)、★6 le soleil(太陽) ※母音または無音の h で始まる名詞の前では、冠詞がエリジオンして【l'】の形になります。
単数・女性名詞	la (l')	例: ★7 la voiture(車)、★8 la robe(ドレス)、★9 la lune(月) ※母音または無音の h で始まる名詞の前では、冠詞がエリジオンして【l'】の形になります。
複数名詞	les	例: ★10 les chats(猫)、★11 les hommes(人間)
【注意したい用法】前置詞と定冠詞の縮約		
※前置詞 à(～に、～で、～へ(英語の at または to に近い))と de(～の(英語の of または from に近い))の後に le または les が来る場合、縮約が起こります。		
●誤) à + le + (単数男性名詞) → 正) au + (単数男性名詞)		
●誤) à + les + (複数名詞) → 正) aux + (複数名詞)		
●誤) de + le + (単数男性名詞) → 正) du + (単数男性名詞)		
●誤) de + les + (複数名詞) → 正) des + (複数名詞)		

不定冠詞(L' article indéfini)		
不特定の数えられる名詞の前につく冠詞です。単数・複数・名詞の性により形が異なります。		
名詞の種類	不定冠詞	
単数・男性名詞	un	例: ★12 un blouson(1着のブルゾン)、★13 un hôtel(1軒のホテル)、 ★14 un étudiant(一人の男子学生) ※母音または無音の h で始まる名詞の前ではリエゾンが起こります。
単数・女性名詞	une	例: ★15 une cravate(1本のネクタイ)、★16 une école(1校の学校)、 ★17 une étudiante(一人の女子学生) ※母音または無音の h で始まる名詞の前ではアンシェヌマンが起こります。
複数名詞	des	例: ★18 des blousons(数着のブルゾン)、★19 des hôtels(数軒のホテル) ★20 des écoles(数校の学校)、★21 des cravates(数本のネクタイ) ★22 des étudiants(数人の男子学生)、★23 des étudiantes(数人の女子学生) ※母音または無音の h で始まる名詞の前ではリエゾン起こります。 ※ただし、否定表現の中では、des は de になります。(初級 5 で詳しく学習) ※ただし、後に続く名詞が【形容詞+複数名詞】の場合、des は de になります。 (通常、フランス語は【名詞+形容詞】の語順です。但し、一部の形容詞は名詞の前に置かれます。この場合に des が de になります。(初級 10 で詳しく学習)) 例: ★24 de grands yeux(大きな目)

部分冠詞(L' article partitif)		
不可算名詞の前につく冠詞です。名詞の性により形が異なります。		
名詞の種類	不定冠詞	
男性名詞	du(de l')	例: ★25 du vin(ワイン)、★26 du pain(パン)、★27 de l'argent(お金) ※母音または無音の h で始まる名詞の前では、【de l'】の形になります。
女性名詞	de la(de l')	例: ★28 de la viande(肉)、★29 de la bière(ビール)、 ★30 de l'eau(水)、★31 de l'huile(油) ※母音または無音の h で始まる名詞の前では、【de l'】の形になります。

#### 【冠詞を使い分けるための学習ポイント】

- 名詞を覚える際には、不定冠詞もしくは部分冠詞と合わせて覚えることで、名詞の性別および可算・不可算であるかを合わせて覚えることができます。
- 不可算名詞であっても、「○○というもの」というようなすべてのものを表す場合、定冠詞を用います。つまり、フランス語においては、名詞で表すものが、概念すべてを表すのか(=定冠詞)、その中の一部分を表すのか(=不定冠詞または部分冠詞)、を冠詞で区別して表現しています。
- 名詞が身分・職業を表す時には、冠詞が付きません。例: Je suis étudiant.(私は学生です。)

## Partie 2 ~ Exercices (練習問題) ~

- ★32 A. 下記の絵は何を表しているでしょうか。可算名詞は【不定冠詞+名詞(単数・複数の区別をして)】で、不可算名詞は【部分名詞+名詞】で答えてみましょう。  
必要に応じて講師も発音しますので、繰り返して練習してみましょう。

例



解答例: des gâteaux

1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



★33 B. 下記の絵は何を表しているでしょうか。【定冠詞+名詞(複数・単数の区別をして)】で答えましょう。  
必要に応じて講師も発音しますので、繰り返して練習してみましょう。

例



解答例: les gâteaux

1



2



3



4



5



6



7



8



9



★34 C. 講師が「冠詞+名詞」を言いますので、聞き取った「冠詞+名詞」のつづりをタイプしましょう。